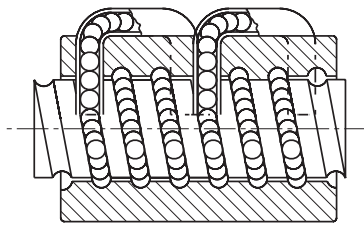
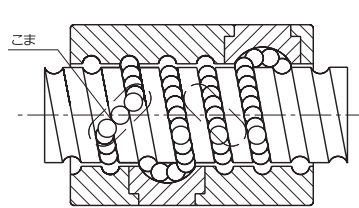


3 循環方式によるナット種類



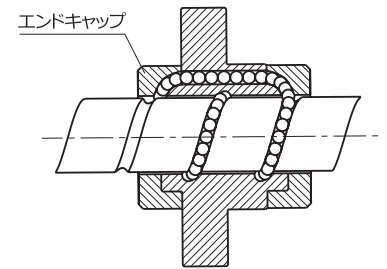
リターンパイプ式

一般的な方式で、金属パイプまたは樹脂リターンパイプを利用してボールを循環させる方式です。(STK 形)



こま式

こまによりボールの進行方向を変える方式で、ナット外径及び長さをコンパクトにしたため、取付が簡単です。(FK 形)



エンドキャップ式

大リード、高速送りに適していますが、ナット外部に設けたエンドキャップとナット内部に設けた貫通穴にボールを循環させる方式です。(SLK 形、FH 形)

4 ボールねじ選定の手順

ボールねじ選定に必要な条件

搬送姿勢：	水平／垂直／その他
適用質量：	m (kg)
テーブル案内方法：	転がり
案内面の摩擦係数：	μ
案内面の抵抗：	f (N)
軸方向外部荷重：	F (N)
軸取付方法：	固定 - 自由／固定 - 支持／固定 - 固定
希望寿命時間：	Lh (h)
ストローク長さ：	Ls (mm)
使用速度：	Vmax (m / s)
加速時間：	t1(sec)
等速時間：	t2(sec)
減速時間：	t3(sec)
加速度：	a(m/s ²)
加速距離：	L1 (mm)
等速距離：	L2 (mm)
減速距離：	L3 (mm)
毎分往復回数：	n(min - 1)
位置決め精度：	- (mm)
繰返し位置決め精度：	- (mm)
バックラッシ：	- (mm)
「駆動モータ条件」	
使用モータ：	AC サーボモータ／ステッピングモータ／その他
モータ定格回転数：	Nmo(min - 1)
モータの慣性モーメント：	Jm (kg・m ²)
モータ分解能：	- (パルス / rev)
減速比：	A

